

BAS

Business Analysis Service

ビジネス・アナリシス・サービス(業務分析サービス)

ビジネス・アナリシス・サービス(業務分析サービス)

sdcの業務分析サービスは、お客様のビジネスプロセスを可視化してあるべき姿を描き効率の良い業務改善案及びシステム改善案を導きだし経営戦略に活用頂けます。

◆ AS-IS調査	ビジネスの現状を「見える化」「見せる化」
◆ TO-BEモデルの策定	ビジネスの「あるべき姿」
◆ システム改善提案	システムの簡素化、システム統合、データ一元化
◆ 属人化分析	業務リスク分散
◆ 業務負荷分析	作業の平準化
◆ 配置・スキルレベル分析	要員の適材適所化

弊社は以下方法論を融合させお客様の問題・課題に対しご提案致します。

「業務プロセス分析手法」BPEC (Business Process Engineering Cycle)
「データモデリング手法」DOA (Data Oriented Approach)

■ BPEC (Business Process Engineering Cycle)

BPECは「短期間」「低負荷」「低コスト」でお客様の「業務の見える化」を実現し、より効率的・効果的・継続的な業務改善の実施・実現を支援します。BPECは、第一に、業務テンプレートを活用したインタビューによって業務構造の抽出を行い、それを元に自動生成したヒアリングシートによって担当者別業務量、業務の難易度を抽出します。そして、従来の業務見える化のように闇雲にすべての業務フローを書き表すのではなく、業務の定量情報を分析して問題傾向を見出し、その中から、改善テーマを絞って、業務フローを作成して、TO-BEモデルの策定に繋げていきます。

■ DOA (Data Oriented Approach)

RDBが登場して、データベースを中心にする考え方が考案されました。ユーザの欲しいのは画面・帳票すなわち業務遂行のためのデータであり、プログラムはこれを提供するための手段にすぎないと考えられます。素材となるデータをストアするデータベースを中心にシステムの構築すべきと言う考え方を前提に、One Fact One Place (1つの事実は1つの場所に記録する)を基本として多重管理を排除し、シンプルな業務やシステムのあるべき姿を描き出します。

■ 適用例 1.

- システムを多段階的に拡張した為、システム構成が複雑になり、同意のマスターデータが多数存在し手作業が増えてしまっている。
→DOA手法を適用しデータモデリングを行い、データの一元管理を実現し多重処理を排除する。

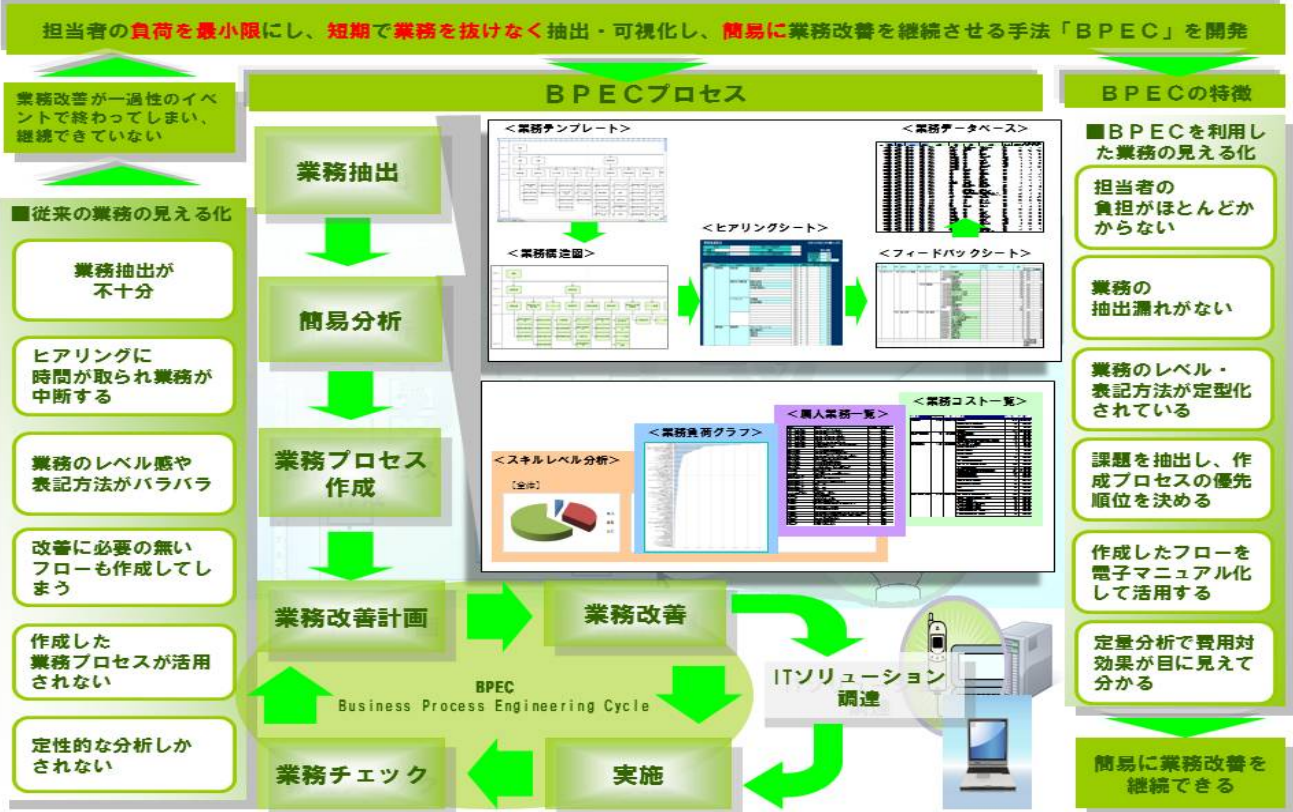
■ 適用例 2.

- 業務負荷が高くなっている為、業務改善をしたいが、業務が可視化できていないのでどの業務を改善すれば良いか定量的に見えない。
→BPEC手法を適用し業務構造を可視化し作業量や費用を定量的に可視化し業務改善ポイントを明確にする。

■ 適用例 3.

- リスク分散の観点から属人化を排除したいが、どの業務に誰が属人化しているかが見えない。
→BPEC手法を適用し業務構造を可視化し担当者別、作業レベル別に定量的に可視化し業務改善ポイントを明確にする。

■BPECオーバービュー



- 各業務別のテンプレートを利用する為、業務抽出の抜け漏れを防ぎます。
- ヒアリングシートは自動生成されます。
- 業務データベースは二次利用可能です。

■作業手順

	貴社ユーザー様	所要時間	弊社及びPJメンバー
リーダーヒアリング	業務テンプレートを使用して質問形式でヒアリングをしますので、それに答えていただくだけで結構です。	1時間30分程度	テンプレートを使用してヒアリングを行います。
ヒアリングシート記入	ヒアリングシートを配布しますので、従業員の皆様に記入していただきます。記入に際しては、記入要領を配布致します。配布、回収はリーダー様をお願いします。	お一人様 20~30分程度で記入できます	ヒアリング後のテンプレートを利用して、ヒアリングシートを作成し、配布します。
業務確認とスキル記入	集計結果を一覧表で返却します。リーダー様から見て、問題が無いかを確認していただきます。また、各業務にスキルレベルを記入していただきます。	1時間30分程度	皆様が作成したヒアリングシートを集計して、疑問点や矛盾点をコメントします。
分析確認	リーダー様に、分析の結果を確認していただきます。	1時間程度	全てのデータを使用して各種分析を行います。
プロセス作成	プロセス作成の優先順位を決め、担当者様に業務の手順をヒアリングします。	1フロー 20~30分程度	目の前でプロセスを作成し、その場で確認をします。
課題の確認と施策の考案	プロセスを確認し、課題を抽出します。また、考え得る施策を考案します。	2~3時間程度	プロセスを確認し、課題を抽出します。また、考え得る施策を考案します。

■作業スケジュール例

No	タスク	内容	開始当月	2ヶ月目	3ヶ月目
1	AS-IS業務の可視化開始	・KICKOFF ・現状確認	■		
2	業務抽出	・現場確認 ・リーダーヒアリング ・ヒアリングシート記入 ・業務構造作成	■		
3	簡易分析	・業務負荷分析 ・雇人化分析 ・スキルレベル分析 ・課題抽出 ・可視化する業務プロセスの作成		■	
4	業務フロー作成	・プロセスシナリオ作成 ・業務フロー作成 ・ドキュメントリンク		■	
5	業務改善計画	・業務フロー分析 ・課題抽出、改善施策			■
5-1	改善効果検証	・シミュレーション			■
6	プロジェクト報告	プロジェクト結果報告			▲

- 各種分析結果を基に以下の事ができるようになります。
 - ・各種分析結果を基に改善ポイントが明確になり、定量的効果予測が立てられます。
 - ・各種分析結果は仮説に対するエビデンスとしても利用できます。
 - ・効果的なソリューションの立案が可能になります。

■BPEC成果物一覧

	アウトプットイメージ	アウトプットの内容と目的
業務構造図		リーダー様のヒアリング、個人のヒアリングと、業務抽出が進むごとに業務を視覚的に確認できるように業務構造図を作成します。
業務データベース		ヒアリングシートを回収すると、業務のデータベースを作成します。これは各種分析に使用しますが、誰がどの業務にどのくらい時間をかけて遂行しているかがわかります。
業務マトリクス		業務データベースを利用して、業務のマトリクスを作成します。マトリクスにすることで、業務全体を把握でき、システム機能管理やリスク管理に活用できます。
業務負荷分析		どの業務に負荷がかかっているのかがわかります。業務量がわかると業務コストもわかりますし、業務負荷の高い業務が改善効果が高いと思われれます。
属人業務分析		個人に依存している業務が明らかになります。属人業務は業務のボトルネックとなります。
スキルレベル分析		スキルレベルを確認することで、業務が適材適所で遂行できているか否かがわかります。分析資料は、全体、部門別、個人別に作成します
業務プロセスフロー		分析結果より課題を確認して、プロセス作成の優先順位を決めます。書くことで業務内容をより詳しく理解し、課題のあるプロセスであるため、プロセスの不備が見えやすくなります。

■BPECサービス一覧

1. BPEC研修サービス	
お客様自身で実施いただけるように研修も行います。	
研修メニュー	内 容
1. BPEC概論	BPECによる見える化とは何かを講義します。（※無料）
2. BPEC導入研修A （操作・課題解決）	BPECに基づく業務抽出・分析の操作方法を身に付け、見える化の結果どのように改善・課題解決に導くかを事例を交えて理解し、課題解決のスキルを習得します。
3. BPEC導入研修B （操作・システム導入）	BPECに基づく業務抽出・分析の操作方法を身に付け、見える化の結果どのようにシステム構築へ導くかを事例を交えて理解し、システム導入のためのスキルを習得します。
4. プロセスモデリング研修	特定した業務に対して、業務フローを作成します。
5. 業務検証研修	これまでのデータをもとに、現状とあるべき論を議論しながら、業務の検証を行います。
2. BPEC実施フォローサービス	
BPEC手法をスムーズに導入し、確実にプロジェクトを実施いただけるよう、OJTによるフォローサービスがあります。	
フォローサービスメニュー	
1. 業務抽出フォローサービス	
2. 業務分析フォローサービス	
3. 業務フロー作成フォローサービス	
4. 業務検証フォローサービス	
3. BPECキット販売	
BPEC手法を実施するために必要なソフトウェア・各種フォーム・マニュアル等のツール一式を「BPECキット」として提供します。（※お一人様1ライセンスごとの販売となります。）	

システムズ・デザイン株式会社

本社 〒168-0063 東京都杉並区和泉1-22-19 朝日生命代田橋ビル6F
Tel. 03(5300)7801(営業) Fax. 03(5300)7841

<http://www.sdcj.co.jp>